

# あそびまつりだより NO.11

2018.10.11

頌栄幼稚園

## 年長組 リレー

ずっと憧れていたリレーを今年は自分達でするということで、とても張り切っている子ども達。リレーをすると言うと歓声があがるほどです。毎回課題はありますが、ひとつずつ考えながら今年のリレーが出来上がってきています。さあ、準備です。



審判の台も出そう。重たいけれど、大丈夫。

コーンを並べてリレーのコースを作ります。



赤はこっち。  
白はこっち。  
コーンに並んで。

お便りにするとスムーズに進んでいるように思えますが、コーンに並ぶまでには時間がかかりかかりました。けれど、リレーがしたいという子ども達の思いが強く、時間がかかっても誰もやめようとはせず、リレーを始めることができました！



「はい、バトン。」  
次の子に渡します。  
でも、まだまだスムーズには渡せません・・・。

毎年、アンカーの子はアンカーたすきをしています。今年は違います。子ども達が考えたアンカーの印は赤白帽です。最後の子だけ、幼稚園の帽子をかぶっています。帽子を忘れたから幼稚園の帽子をかぶっているのではありませんので、お間違えのないように。

## <年少かけっこお世話係>

年少組にかけっこを教えてあげるようになったお世話係の6人。「旗に並べられないから大変。」「今日は走るところまでできた。」と報告をしてくれます。しかし、なかなか進めることができないので6人で作戦会議をすることに。年少の子を旗に並べる子、おみやげを渡す子、審判を支える子と役割を決めたようです。その日は作戦会議だけで終わりのはずでしたが、いくら待ってもお世話係の子が部屋に戻ってきません。まだ話をしているのかと思って見に行きましたが、もう誰もいません・・・。「???」幼稚園の中でいなくなったの?と園舎を回って探しましたがいません。「????」すると、「いました!」との声!!

どこにいたと思います?なんと体育館で年少組が来るのを今か今かと待っていたのです。「先に体育館に行って隠れて待って、年少組を驚かせようと思ってたの。」「今日、年少組にかけっこ教えようと思ってた。」と今日決めた作戦で年少組にかけっこを教えてあげようと思っていたんです。子ども達の意欲と「自分達で」という責任感に成長を感じました。もうこの子達に任せても安心という思いが強くなった出来事でした。

椅子に座っていない子に声をかけたり、「今出るんだよ。」と呼んでくれたり、お世話係以外の子もたくさん助けている姿が見られます。異年齢のかかわりが子ども達を大きくするんだなと改めて感じました。